



金沢共同溝 シールドマシン（巨大モグラ）到達!!

記者発表資料

国道357号 金沢共同溝で約2.3kmの共同溝トンネルが貫通
11月18日(土)に『金沢共同溝シールドマシン到達式』を開催します。

○ 昨年10月11日に小学生達に見送られて発進したシールドマシンが約1年をかけて目的地へ無事到達

発進式の状況



○ 川崎・横浜地区を縦貫する共同溝ネットワークが概成

- ① 東京湾臨海部において地震に強く、安全性・信頼性の高いライフラインネットワークが構築されます
- ② 国道357号をはじめとする湾岸地域における道路の掘り返し工事が大幅に削減され、工事に伴う交通混雑が緩和されます

○ 金沢共同溝シールドマシン到達式を11月18日(土)10時から金沢区幸浦1丁目(別添参照)で開催します

- ・ 工事に際し、ご協力いただいた方々や親子見学会に参加していただいた小学生達にも出席していただきます

平成18年11月16日

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、川崎記者クラブ
神奈川県政記者クラブ、横浜市政記者会、横浜ラジオ・テレビ記者会

問合せ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所

計画課長 土肥 学 tel 045-316-3536 (直通)

共同溝課長 千野 啓次 tel 045-316-3540 (直通)

- ・ 安全性・信頼性の高いライフライン（電気・電話・下水道）が構築されます

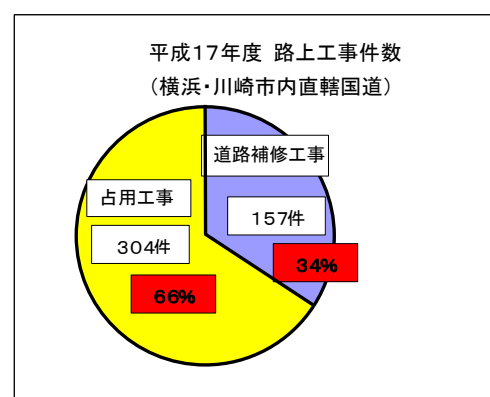
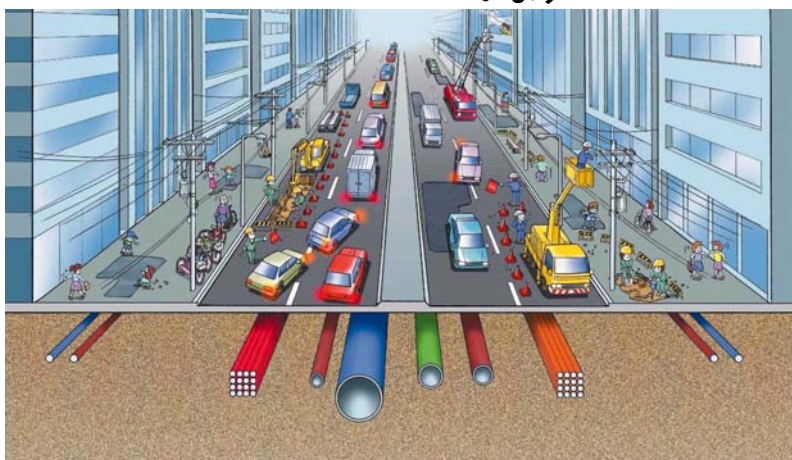
- 横浜市内の各下水処理場から発生する汚泥を再資源化施設へ搬送するためのネットワークを構成
- 湾岸地区の火力発電所から泉区の超高圧変電所への送電ルートの一部を構成
- 横浜南部湾岸地域の配電変電所間を連繋
- ライフラインをネットワーク化することでバックアップシステムを強化



- ・ 国道357号をはじめとする湾岸地域における路上工事を大幅に削減、路上工事に伴う交通混雑が緩和されます

未 整 備

横浜・川崎市内の直轄国道における路上工事の約7割がライフライン等の工事であり交通渋滞の原因になっています



共同溝未整備のイメージ



整 備 後

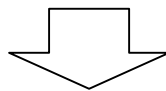
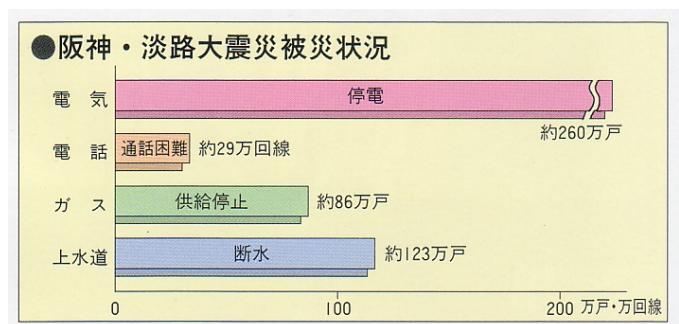
車道を規制する掘り返し工事が減少し、交通がスムーズに流れます



共同溝整備後のイメージ

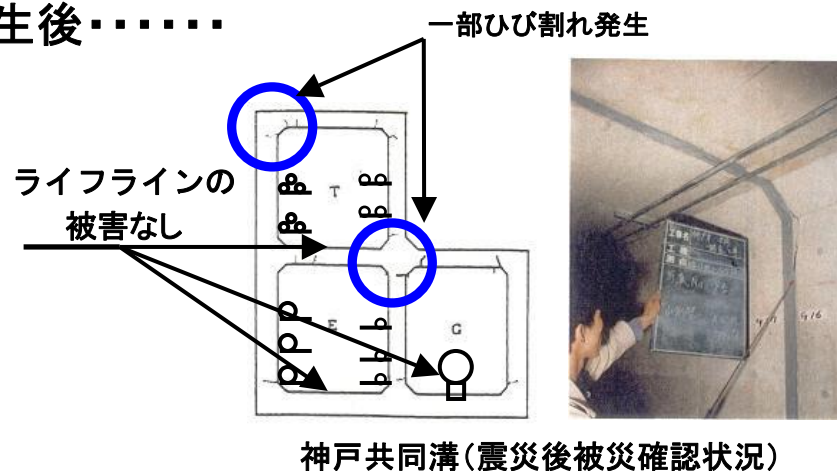
(参考)

平成7年の阪神・淡路大震災では、道路、鉄道等の交通機関や建物等の倒壊をはじめ、断水や停電、通信ケーブルの損壊等、ライフラインにも甚大な被害が発生



ただし、神戸共同溝内に收容されていたライフラインは、被害を受けませんでした。

地震発生後……



共同溝の中にライフラインを收容する事で、大規模な地震等の災害から都市が守られます。

○「金沢共同溝シールドマシン到達式」を行います

- ・ 工事に際し、ご協力をいただいた方々や親子見学会に参加していただいた小学生達にも出席していただきます

● 実施概要

日時：平成18年11月18日(土) 10:00～12:00

場所：横浜市金沢区幸浦1丁目(到達立坑)

主催：国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所

● 実施内容

- ・ 親子見学会参加者のインタビュー
- ・ 除幕、くす玉割
- ・ シールド内見学

● 当日の取材について

- ・ 取材の受付は、到達立坑(金沢区幸浦1丁目)にて行いますので、10時までにおこし下さい。
- ・ 金沢シーサイドライン「鳥浜駅」から徒歩約5分です。
- ・ お車でご来場の方は、事前に「問合わせ先」まで連絡願います。



○金沢共同溝の概要

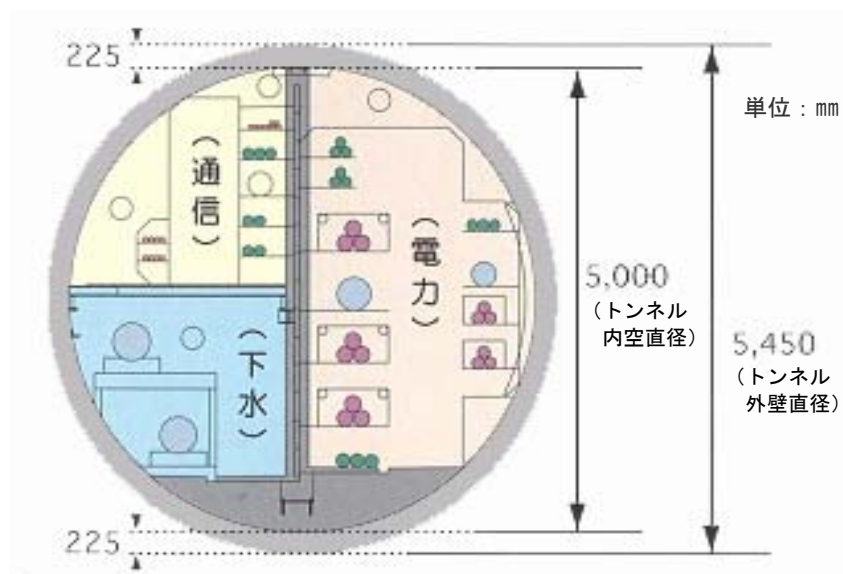
- ・延長 L=2, 284m
- ・立坑4箇所 発進立坑 1箇所
到達立坑 1箇所
中間立坑 2箇所
- ・シールドマシン直径 $\phi 5, 600\text{mm}$

・シールドマシン全景



(平成17年5月撮影)

・金沢共同溝断面図



・発進式でのシールドマシンの状況



(平成17年10月撮影)

・共同溝内の状況



(平成18年10月撮影)

・シールドマシン到達状況



(平成18年11月撮影)